

6 年	単元名	「海の命」	6 時間
単元の目標	・登場人物の関係に気をつけて読み、登場人物の生き方について考える。 ・「生き方」や「命」について考えを深める。登場人物の相互関係から、心に響くのは何かを考えて読む。 ・自分の考えを友達の考えと比較して考える。＝対話的な学び ・主体的に読む姿勢を身につける。		
日本語の目標	・～と書いてあるので、～だと考えました（思いました）。 ・～さんに～～という意見を聞いて、～～と考えました（思いました）。 ・(人物) は、(人物) の～～から～～と影響を受けたと考えました（思いました）。		
学習課題	【単元を貫く問い】太一はどんな生き方をしたのかを考える。 ・太一が言葉にしなかった思いをビデオレターにして、登場人物の一人に届けよう。		
主な学習活動	・登場人物の人物像を考え、「人物関係図」を作成する。 ・単元を通して「読みの深まりシート」を記入することで、自分の考えの深まりを実感する。 ・物語の最後に書かれていない太一の気持ちを考え、それを実際にスピーチする。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
0	家庭学習課題	第1時限に全体の概要をつかむために、あらかじめ意味が分かりにくいと思われる言葉を調べてくる。	★ワークシート①「しらべ～」
1	学習課題をつかむ	めあて <u>物語の全体をつかもう</u> ・教科書は開かず教師の範読を聞く。 - 途中で「次はどうなる？」クイズに答えながら、聞き進める。 ・音読練習をする。(追い読み、交代読み、相づち読みなど) ・物語文の読みの観点を確認する(ワークシート②)。	◎単元を通して、発問に対して「個々で考察」→「ペアで共有」→「グループで共有」→「全体で共有」を基本とし、子どもたちの活動量を増やす。 ★ワークシート②「たしかめ～」 (登場人物、中心人物、対人物、いつ、物語の舞台、視点、場面) ・3人の人物像(信条、つりのスタイルなど)に迫るための主要な台詞を短冊で掲示する。 ・次週の人物像に迫る授業の準備として、登場人物の台詞に関心を持たせる。そこから人物像に迫っていくことを伝える。
2	家庭学習課題	・クイズ「その言葉、誰のもの？」 - 太一、おとう、与吉いさの言葉を短冊にしておき、誰の言葉かを当てる。 ・意見交流「誰の言葉が一番心に残る？」 - 自分の名前マグネットを該当の短冊わきに貼り、どうしてそう感じたのかを交流する。 ・次時の予告と宿題の説明。	★ワークシート③「ふかま～」
3	登場人物の関係をとらえる。	めあて <u>太一を取り巻く人たちの関わりを関係図に表そう</u> ・「指さしゲーム」で音読宿題の成果を確認する。 (教科書本文を見ながら、指定された言葉や表現を探して、パッと指さす。先生⇔児童でやり方を教えた後に、ペアワーク) ・宿題だったワークシート③発問 A～D について交流し、自分とは違う考え方があることに気づき、自分の考えを広げる。 ・太一と太一の生き方に影響を与えた登場人物との関わりを、ワークシート④人物関係図にまとめる。 * 父から学び取ったこと＝父の影響 * 与吉いさから学び取ったこと＝与吉いさの影響 * 個々の考えを全体化、共有化する。	★ワークシート③「ふかま～」 ★ワークシート④「からま～」 ・前週で取り上げた登場人物の台詞に着目して、それぞれの「つりのスタイル」と「海と生きる共に生きる信条」に迫りながら、人物関係図を作成する。
4	物語のクライマックスをとらえる。	めあて <u>ズバリ！太一の心が一番変化した一文を探そう</u> (物語のクライマックス場面に迫る) ・太一の気持ちの変化の流れを、ワークシート③発問 A～C に沿ってまとめる。(2-A～2-Cを記入) ・太一の心が一番変化したと思う一文に線を引く。(教科書本文) (自分で考える→ペアで交流→グループで交流→全体で交流) ↓	★ワークシート③「ふかま～」 ・お互いの考えを比較して話し合い、自分の考えの深まりを感じる。

		P210L12『水の中で太一はふっとほほえみ、口から銀のあぶくを出した。』 ・クエ（瀬の主）を打たなかった理由について話し合い、太一の考えがどう変わったかを読み取る。 ・太一の心が変化したあと、なぜ太一は瀬の主にもりを打たなかったのかを考える。 ※文章で表現するのではなく、「暗知黙」（簡単に言葉で説明できない知識）を使い、この時の太一の心の様子を色で表現する。 ・自分が塗った色について、そう考えた理由を交流する。	★ワークシート⑤「いろぬ〜る」 ・型の短冊に、太一の心の様子を表す色を塗る。単色でなく、複数を重ねてもよい。 ・色だけでなく、色と言葉の間の記号や絵も使ってよいこととする。
	家庭学習課題	・登場人物の台詞を中心に音読。（気持ちを想像しながら読む） ・ワークシート⑤型の短冊に塗った色の表現について家族に話す。それを家族が文章化し、記入して先生へ報告する。	★ワークシート⑤「いろぬ〜る」
5	登場人物の生き方について考える。	めあて <u>太一の生き方を考えよう</u> ・クエ（瀬の主）を打たなかったことを生涯誰にも話さなかった理由について話し合う。 （自分で考える→ペアで交流→グループで交流→全体で交流） ①もしもクイズ 「もしも、太一が巨大なクエに出会った時に誰かの声が聞こえてきたとしたら、それは誰のどんな声か？」 ②もしもクイズ 「もしも、太一が巨大なクエを打たなかった理由を誰かに話したとしたら、それは誰にどんな風に話したと思うか？」 ・太一の書かれていない思いを想像して書き、ビデオレターにすることを伝える。 ・次週の予告と宿題の説明。	★ワークシート⑤「いろぬ〜る」 ・太一の気持ちを直接問うのではなく、間接的に登場人物の気持ちを考える。 ★ワークシート⑥「とどけ〜る」
	家庭学習課題	・ワークシート⑥を完成させて、朗読の練習をしていく。 ・ワークシート⑥（反転授業）の説明をする。 NHK「お伝と伝じろう」より「声だけで表現しよう」を視聴し、よい朗読をするための「体・心・技」とは何かを理解する。	★ワークシート⑥「とどけ〜る」 ★ワークシート⑦「みてみ〜る」
6	学習の成果の発表と交流	めあて <u>太一の書かれていない気持ちをビデオレターにしよう</u> ・宿題ワークシート⑤を使用し、よい朗読をするためには「体・心・技」が大切なことを確認する。 ・自分が書いた手紙の朗読練習をする。 （全身を使って朗読できるように、教師が見本を示す） 差出人：太一 宛 先：死んだ父、クエ（≡父）、じいさ、母、妻、子ども達 ・ビデオレターにするために、一人 30 秒ずつ録画する。 ↓ ・成果の発表（案） ＊6 年 1 組と 2 組でお互いに視聴し合う。 ＊2 月の授業参観で流す。 ＊3 月の「6 年生を送る会」での発表の一部とする。 ＊3 月の「卒業式」後のホームルーム（保護者も参加）で流す。 など。 ・ルブリックに記入をし、振り返りを行う。	★ワークシート⑦「みてみ〜る」 ・強勢やイントネーションを駆使して感情を表現する。 ・言語による発表だけでなく、ノンバーバルコミュニケーション（話し方、表情、ジェスチャーなど）も意識させる。 ★ワークシート⑥「とどけ〜る」